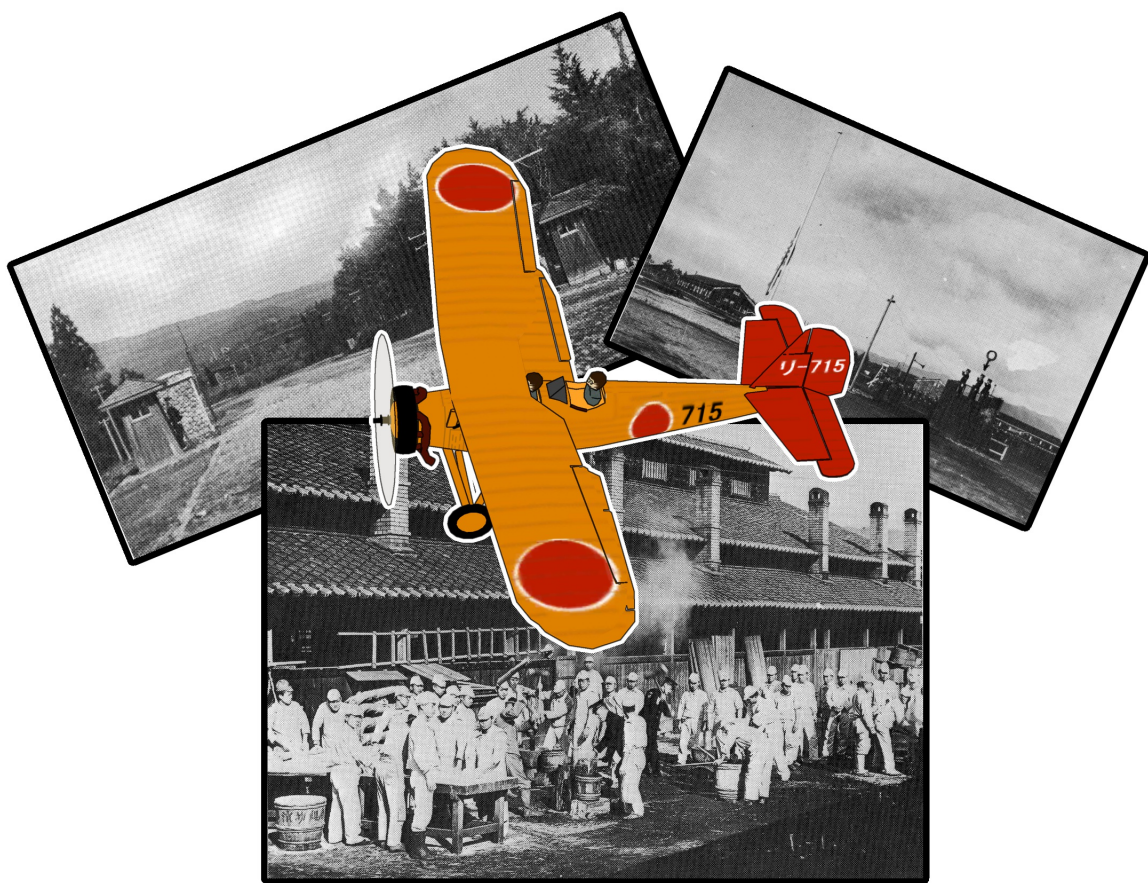


第1章 人吉海軍航空隊基地の戦跡



1943年11月
建設工事
1944年2月
第18連合航空隊・人吉海軍航空隊の発足
1945年3月
第22連合航空隊に編入・本土決戦への協力強化
1945年3月と5月
アメリカ軍艦載機の空爆で壊滅的被害を受ける
1945年7月
人吉海軍航空隊閉隊→九州航空隊人吉派遣隊
その後
作戦基地・兵站基地として位置づけられる

かつて人吉球磨には
海軍の航空隊が置かれ
多くの若者たちが
飛行機の整備や操縦の
訓練を行っていました



滑走路は
道路や畑になつて
残跡だけがあるけど...



写真出典〜グーグルマップより

特攻隊員は
いても
飛行機は
なかった
そうだったよ



出典：『青春の軌跡(続)』(峯空会編)

※特攻＝飛行機などに爆弾を積んで敵に体当たりする戦法

錦町特産の
梨や桃よりも
甘すぎだ！



いきなり
あらわれた
軍人さんた
いったい何？

そのまま
残っているよ

甘いぞ！

隊門は
今でも



写真出典〜グーグルマップより



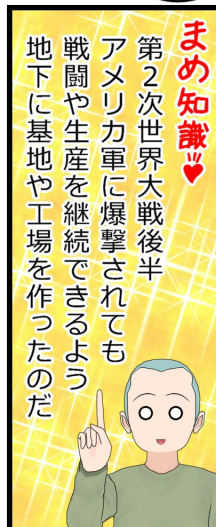
こんなに
たくさん
地下に
ある
なんて！



滑走路の痕跡や
隊門ばかりじゃなく
航空隊跡地には
これだけの遺構が
残っているのだ



というわけで
人吉海軍航空隊
基地跡なんだけど
歴史教育の資料や
観光資源としても
とっても貴重だよ



まとめ知識♥
第2次世界大戦後半
アメリカ軍に爆撃されても
戦闘や生産を継続できるよう
地下に基地や工場を作ったのだ



まさに
秘密基地
ですね

隊門

庁舎居住地区と飛行場地区の隊門は、当時のまま今でも残っています。



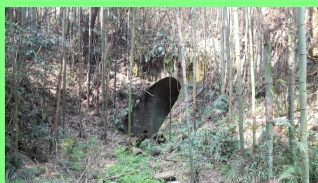
飛行場用水路

人吉海軍航空隊基地のあった高原は、水源が乏しく、水不足を解消するために用水路が作られました。今でも農業用水路として、利用されています。



地下自力発電所

庁舎居住地区の西南側の斜面にあります。現在は国立少年院の敷地となっています。入口は2つあり、中にはディーゼル発電機がすえつけられていました。



南側出入口



西側出入口



地下自力発電所内から西側出入口方面を撮影

飛行場・滑走路

現在は農地に利用され、当時の滑走路に沿って道があります。



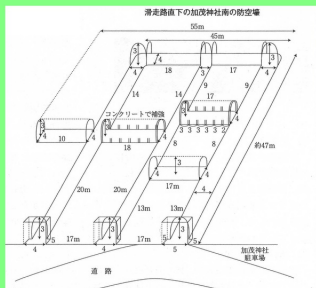
戦闘指揮所

滑走路の北東に戦闘指揮所がありました。



地下魚雷調整場

由留木賀茂神社の駐車場に出入口があります。現在は農機具倉庫などとして使用されています。



内部構造～『戦後65年 熊本の戦争遺跡』（熊本の戦争遺跡研究会・創想舎）より



写真出典～『グーグルマップ』より

地下無線室

由留木賀茂神社の北側にある斜面に出入口が2つあり、そこから入って最初にある部屋が無線室です。北側通路をそのまま進むと、飛行場につながる出入口があります。今は埋められています。



地下作戦室

無線室の隣にあります。



地下工場

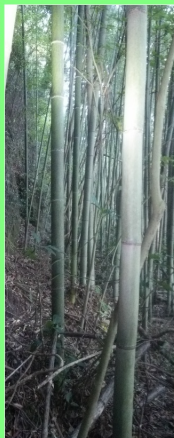
地下飛行機工場、地下兵器工場、地下機械工場、地下発動機工場、地下自動車工場が建設されていました。現在、確認できるのは、機械工場と自動車工場になります。自動車工場は、その入り口を一般道から容易に見ることが出来ます。機械工場は、私有地の裏にあり、外からは見えにくくなっています。

飛行機工場と兵器工場は、削られて消滅しています。近隣住民の話によると、それらの工場のあった地下壕は、二階建てになっているところもあったそうで、くず鉄をたくさん見つけられたそうです。発動機工場は、出入口の前にコンクリートの壁ができ、出入口の場所が分からなくなっています。



兵舎

施設部・設営隊や航空隊のための兵舎が、由留木地区や迫地区に残されています。迫地区の兵舎（設営隊宿舎壕）は、小学校の下にあり、出入口は板で塞がれています。由留木地区の兵舎（航空隊や設営隊が居住）は、竹林の中にあります。近隣住民の話によると、もともと竹林の中に地下壕が掘られたそうです。



トンネル

兵舎、倉庫、工場などの地下壕は、いずれも谷に沿って掘られています。こちらの谷から、あちらの谷まで、地上の道を通って移動するためには、遠回りをする必要があります。しかし、それらの谷をショートカットでつなぐためのトンネルを通れば、近道をすることができます。現在は、由留木地区や山下地区に残っています。



垂直方向の通路も！



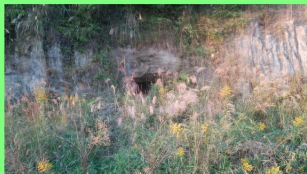
倉庫・弾薬庫

白坂地区、山下地区、野間地区、木上北地区、由留木地区には、たくさんの倉庫があつたのですが、ほとんどが整地されて、牧草地や住宅地となつています。山下地区には、倉庫や弾薬庫が残っています。由留木地区には、倉庫が残っています。

弾薬庫内部



弾薬庫出入口



倉庫内部



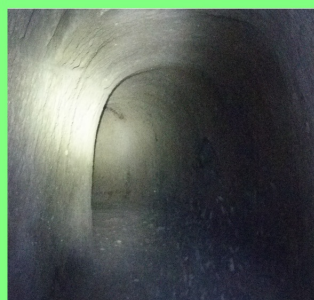
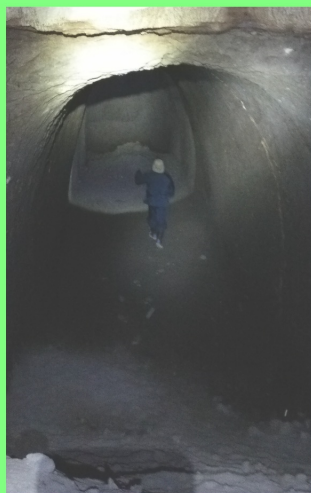
倉庫出入口



倉庫は、基本的には上から見ると「コ」の字型で、
□の形のトンネルになっています。

地下格納庫

大きく分けて、荒田地区、野間地区、緑ヶ丘の3か所に飛行機を隠すための地下格納庫がありました。現状ですが、荒田地区の格納庫と緑ヶ丘にある「隊門下格納庫」が、現存しています。野間地区の格納庫は、道路拡張工事に伴い、削られて消滅しました。

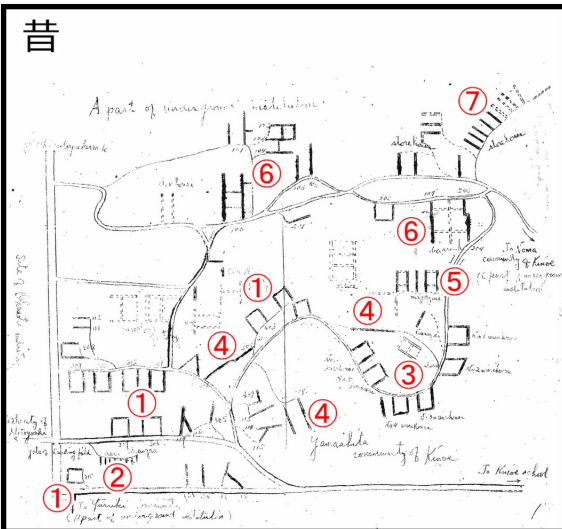


戦跡めぐりの注意点

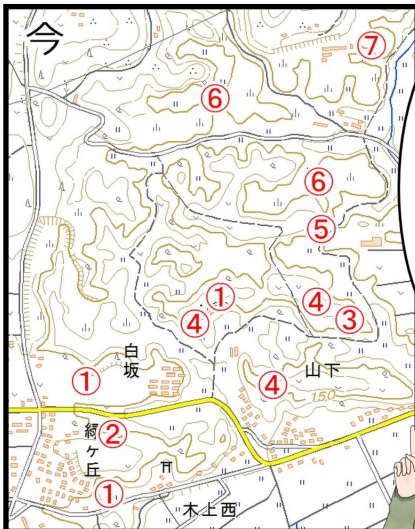
①地下壕内は、落盤や崩落の恐れがあります。また、毒虫や毒蛇のいる場合もあります。ですから、立ち入るときは、危険覚悟のうえ、自己責任となります。

②戦跡のある土地は、国有地、民有地、社有地、共有地などです。立ち入るときは、所有者や近隣住民に声をかける必要があります。

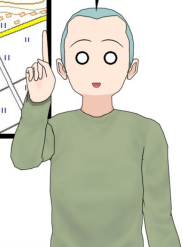
昔



今



「今の地図・右」と
「昔の地図・左」と
比べてみるぞ

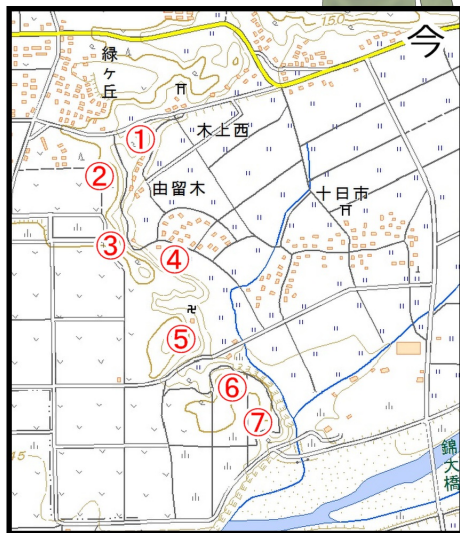
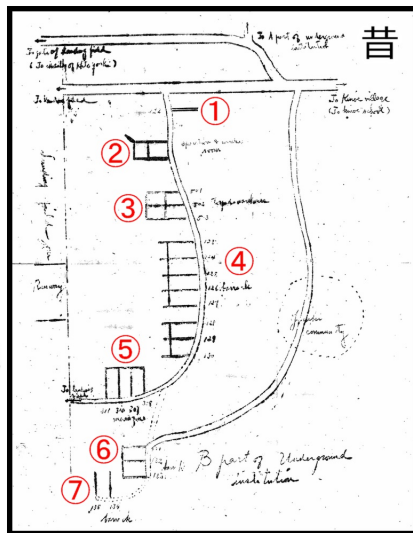


- ①基地倉庫 ②隊門下格納庫 ③補給倉庫 ④トンネル ⑤弾薬庫
⑥兵舎・倉庫 ⑦会計倉庫

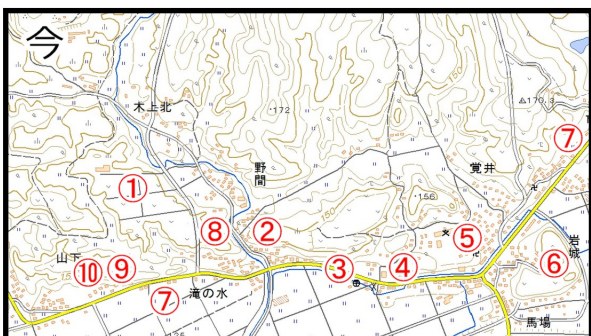
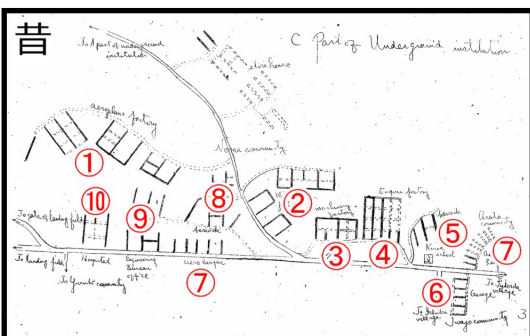
地図出典

今の地図
= 国土地理院の
サイトから引用

昔の地図
= アジア歴史資
料センターの資
料から引用



- ①トンネル
②作戦室・無線室
③魚雷調整場
④兵舎
⑤弾薬庫
⑥兵舎
⑦設営隊宿舍



- ①飛行機工場 ②兵器工場 ③機械工場 ④発動機工場 ⑤設営隊宿舍
⑥自動車工場 ⑦格納庫 ⑧共済病院 ⑨施設部事務所・宿舍 ⑩戦時治療所